

第 39 回家族会

H30年7月21日(土)に第39回目の家族会を開催致しました。参加者は患者さん、ご家族合わせて16名、スタッフ3名の計19名でした。

今回はソーシャルワーカーの内田羽純さんに「在宅介護に役立つ制度について」をテーマに講演していただきました。

内容は介護保険の申請からさまざまなサービスの紹介、インフォーマルなサービスの説明まで幅広く説明していただきました。

退院を控えている患者さんやご家族が3組ほど参加され、介護保険やケアマネジャーの選び方などの質問をいくつかいただきました。退院後の生活に関する関心の高さが伺えました。

入院するまで介護保険は保険料を支払っているだけで無縁だったという方が多くいらっしゃるかと思います。かくいうわたくしも介護保険料を支払い始めましたが…(笑)

病気や怪我を発症して、入院し、将来に不安を感じながらも日々ご家族やスタッフとの関わり中で、少しずつ将来を見据えた時に、一番最初にお世話になるであろう公的制度の介護保険…こういった取り組みを通じて介護保険への理解を高めてもらうことは、患者さんやご家族を支援していく上ではとても大切なことだと今回の家族会を通じて改めて感じました。

2000年に介護保険法が制定されてから18年が経過しました。少しずつ制度も変わっておりますが、団塊の世代が後期高齢者となる2025年、さらにはその先に対しても介護の不安がなくなるような制度を形作っていただけたらと思います。



次回は9月15日に歯と歯茎の健康について、管理栄養士の松尾主任にお話ししていただく予定となっております。また8月29日には桜井先生に入院経験から得たお話をさせていただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

文責 原田

